

生物多様性保全の取組について

1 趣旨

本市における生物多様性保全の体系的・総合的な実施に向けて本年3月に策定した「京都市生物多様性プラン」(以下「プラン」という。)の推進を図るため、リーディング事業等の取組を進めているので、報告する。

2 今後の取組について

プランに基づく施策を具体化する初年度となる今年度は、

- (1) 積極的なプランの市民周知
- (2) リーディング事業の着実な推進
- (3) 生物多様性をキーワードとした洛西ニュータウンのまちづくりとの連携に取り組んでいく。

(1) 積極的なプランの市民周知

市民の生物多様性の認知度は4割と低く、本プランの特徴である「伝統・文化・暮らしとの関わりに着目」を含めて周知する必要があることから、次の取組により、生物多様性を知り、行動する市民を増やしていく。

ア プランの概要版や「京都市政出前トーク」を活用した市民周知

プランの概要版を区役所等で配架するとともに、「京都市政出前トーク」にプラン周知のテーマを新設し、市民への周知を図っていく。

イ 局区の関連事業と連携した市民周知

各局が実施する生物多様性関連事業及び各区役所・支所の実施する区民提案・共汗型まちづくり支援事業における関連事業について、プランの冠化(プラン周知文の記載)をお願いするなど、各局区と連携した市民周知を展開する。

(プラン周知文)

京都市では、生物多様性保全 の取組を進めています！

詳しくは、**京都市生物多様性プラン**～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～
をご覧ください。

→わたしたちの生活は、**生物多様性の恵み**に支えられていることを御存知ですか？

→**生物多様性の恵み**である京都市の資源を活用した生活や経済活動を行いましょう！





(QRコードは当面は環境管理課のHPにリンクさせ、10月以降はポータルサイトにリンクさせる。)

ウ 京都市動物園，京都水族館と連携した市民周知

京都市動物園については，プラン概要を配架するとともに，「生きもの・学び・研究センター」と連携して，環境学習や園内での自然観察会の開催等を通じ，プランの周知を図る。

京都水族館については，プラン概要を配架するとともに，総合体験型施設における環境教育や普及啓発の取組と連携して，プランの周知を図る。

エ 大学生への積極的な働きかけ

大学の生物関連学部等に積極的に働きかけ，プランの周知を行い，学生に対してリーディング事業「生物多様性保全活動登録制度」への登録や自然観察会などへの参加を促し，実際の活動に結びつける。

オ 小学生への周知

子供たちが生物多様性の重要性を理解できるよう，マンガ本等の小冊子を作成することを検討していく。また，子供を通じ親と子供の取組への広がりも期待できる。

(2) リーディング事業の着実な推進

ア 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト

京都の祭りや文化を支えてきた植物を保全・再生する事業を立ち上げ，生物多様性保全に興味のある事業者等の活動に，専門家を派遣し，生きものの保全・再生を行う。

イ 京都生きもの 100 選の作成

市民等から寄せられた四季折々に見られる植物，昆虫，動物等，身近な自然に関する情報（ツバメのねぐらとなる宇治川河川敷のヨシ原，鴨川の天然アユとその遡上を助ける魚道など）を，「京都生きもの 100 選」としてとりまとめる。

ウ ^{みやこ}京の生きものホットスポット調査事業の実施

- （ア）市内の生物多様性保全上重要な場所（計 12 地点程度）において，活動団体等と連携し，自然度等のモニタリング調査を行い，経年変化を把握する。
- （イ）定期的に自然観察会を実施し，市民が生物多様性保全について理解を深める機会とする。

エ ^{みやこ}「京・生きものミュージアム～京都市生物多様性総合情報サイト～」の開設

生物多様性に関する情報の収集・発信をはじめ，保全活動を行う事業者，団体と活動に興味がある人をつなぐ場として開設する。

オ 生物多様性保全活動登録制度の創設

生物多様性保全の活動に参加したい市民や事業者と、市民と協働して活動を進めたい団体をつなぐための制度として、ポータルサイトを活用して運用していく。

(3) 生物多様性をキーワードとした洛西ニュータウンのまちづくりとの連携

西京区役所洛西支所と十分連携を図り、生物多様性をキーワードとした洛西ニュータウンの魅力あるまちづくりに向け、重点的に取り組む。